

豪州便り

シドニーにて 加本 一久

1月14日朝シドニー港ウーローモーロー埠頭に安着しました。名にしおうシドニーの港は洋上からみても上陸してみても仲々立派なものには驚きました。着いた日が恰度土曜日だったので半日の荷役ですが、この仕事は丸で遊んでいるようなものでホンの申訳程の荷物を陸揚げしたのみでした。

翌日曜日は完全な休日です。当地の購買官が幸い下条氏で購買先から態々帰って出迎えてくれ、街の案内をしてくれました。亦彼の接触している人でレンサール氏が（ガートン会社）非常に親切にもてなしてくれ、日曜日には2台の車で海水浴場等50マイルものドライブをやってくれました。恰度日曜日なので家族連れがパシフィックハイウェイを引きもきらず連って行く状況は全く羨しい限りでした。色々と説明を聞いても初めての土地初めての風俗でその上私はつんぼでおしの状態でやっと眼丈が開いていると言うので情けないものです。当地滞在中何とかして勇敢に接触して少しは意味が通ずる程にでも話が出来るようになりたいと考えています。

その意味で到着した夜早速埠頭のバーに飛びこみ労働者の群に交わってビールを飲んでみました。彼等に因縁を吹かけられたり、ののしられたりするかと実は内心ビクビクものでしたがネグロと支那人の合いの子とでもみたんでしょうか難無きを

得ました。下条氏の話では彼氏も2-3回はやられたそうですが一般には何も危険は無いそうです。

街の印象としては綺麗で静かなことです。そして極めて長閑とした感じがします。物資は豊富ですが物価は高いようです。勿論サラリーなどは日本人の想像以上ですからこちらの人間には当然のことでしょう。珍らしさにつられて矢鱈らに写真をとっています。恐らくろくなものは出来ないでしょう。

私共の滞在予定はシドニーを17-18日頃発ってマーボーンに行きギーロンを経て2月10日前後再びシドニーに帰り牛を積んでからブライスボンに寄って中旬頃帰国の途につく予定らしいですが何分荷役のローなのとストライキがあったりでは5日や1週間は延びる可能性が強いです。こちらの労働者1日分のサラリーで1月以上も滞在するのは心許ない次第ですが手段を尽くして見たり、聞いたり、味ったりをして帰りたいと考えています。

恰度日本は真冬で恐らく火鉢を囲んで寒さをかこち乍ら山積された仕事と取組んで居られることでしょう。それを思うと全く申訳ないような気も致します。どうか遙かに御自愛を祈ります。課内の諸兄にもどうかよろしく御伝え下さい。幸い私は元気一杯です。さようなら。